

東北大学が描く未来像

2025年 7月 12日

東北大学 理事・副学長(企画戦略総括)・プロボスト・CDO

青木 孝文





東北帝国大学の創立 三番目の帝国大学, 1907



「仙台は学術研究に最適な都市」

アインシュタイン, 1922

多様性を力に



黒田 チカ

丹下 ウメ

牧田 らく

日本初の女子大学生の誕生

「女子の帝大入学は重大事件」文部省, 1913(111年前)



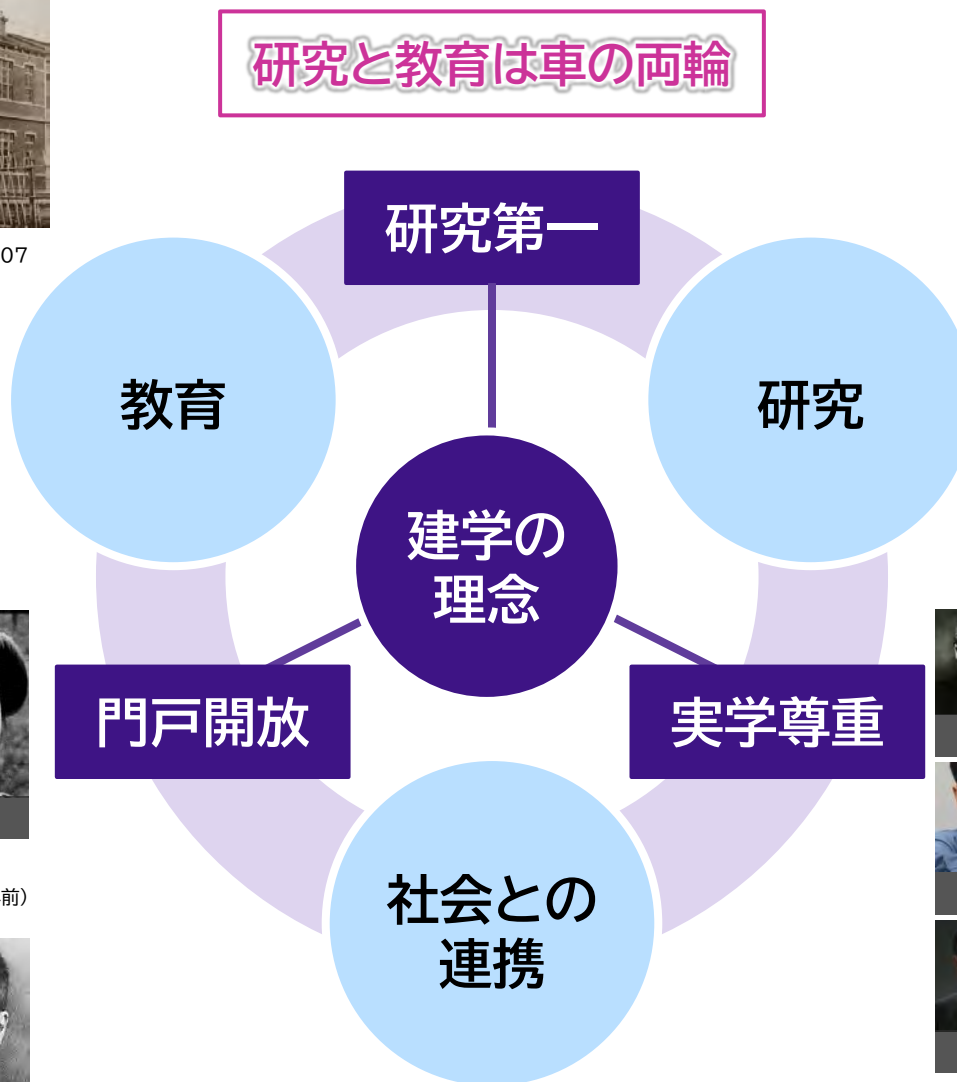
茅 誠司

松前 重義

魯迅

専門学校・師範学校・留学生へ開放

研究と教育は車の両輪



研究第一

教育

研究

建学の
理念

門戸開放

実学尊重

社会との
連携

社会価値を創造



アンテナ

半導体レーザー

質量分析技術

垂直磁気記録

フラッシュメモリ

コンパクト

「産業は学問の道場なり」 第6代総長 本多光太郎

民間および自治体等からの
寄附を受けて創設・発展

東日本大震災からの復興へ貢献
大学の社会的使命を構成員が強く自覚, 2011~

平和で公正な人類社会の実現に貢献

科学技術イノベーション

持続可能社会

人類のウェルビーイング

3つの
コミットメント

Impact

学術的価値

×

社会的価値

Talent

学生

×

研究者・教員

×

専門人材・職員

Change

マインドセット

×

システム(仕組み)

建学の理念

研究第一

門戸開放

実学尊重

初年度支援
154億円

革新と挑戦の学府

Commitments(公約)

I. Commitment for Impact 未来を変革する社会価値の創造

東北大学は、世界的に卓越した研究成果をもとに社会価値の創造を先導する開かれたプラットフォームである。我々は、東日本大震災からの復興への貢献を通じ、多様なステークホルダーとともに、社会的使命を共有し、その自覚を強固なものとした。東北大学は、研究の卓越性と多様性を力として、固定観念にとらわれずに挑戦を続け、未来を変革する社会価値の創造を行う。

Goals(目標)と重点KPIs

A Research Excellence 国際的に卓越した研究エコシステム(学術的インパクト)

- 論文数
- Top10%論文数
- Top10%論文割合
- 若手研究者Top10%論文数
- 若手研究者Top10%論文割合

B Impactful Research & Innovation 世界に変化をもたらす研究展開(社会的インパクト)

- 民間企業等からの研究資金等受入額
- 産学共創拠点設置件数
- 大学発スタートアップ数
- 知的財産権等収入
- 産学共著論文数

Strategies(戦略)

- I-A-1 骨太の研究戦略に基づく卓越性の追求
- I-A-2 独自の三階層研究力強化パッケージ
- I-A-3 活力ある新たな研究体制

- I-B-1 世界を動かす知識行動プラットフォーム
- I-B-2 投資を呼び込むSTIプラットフォーム
- I-B-3 イノベーションを加速する共創機能強化

II. Commitment for Talent 多彩な才能を開花させ未来を拓く

東北大学は、すべての教職員、学生・卒業生を中核とした本学コミュニティメンバーの未来価値の向上に対して継続的・重点的に投資し行動する。東北大学は、開放性と多様性を追求し、様々な社会的・文化的背景をもった多彩な才能を受け入れ、その個性を尊重するとともに、一人ひとりの成長と自己実現を促す魅力ある環境を作り上げ、活力ある未来社会を担う人材の育成に貢献する。

A Campus for Aspiring Minds 世界の研究者を惹きつける研究環境

- 外国人研究者比率
- 女性研究者比率
- PI研究ユニット数
- PI対象教員とスタッフの比率
- 国際対応力のあるスタッフ比率

B Gateway to New Venture 世界に挑戦する学びの創造

- 留学生比率
- 博士課程学生の修了時までの国際経験割合
- 博士課程学生への平均経済支援額
- 博士課程学生数
- 博士号取得者数

- II-A-1 魅力ある研究者キャリアパスと処遇
- II-A-2 経営スタッフの高度化と役割の拡大
- II-A-3 世界水準の挑戦を支える多様性キャンパス

- II-B-1 大学院から広がるキャリアマネジメント
- II-B-2 国際性・開放性を基軸とする大学院変革
- II-B-3 研究大学にふさわしい学部変革

III. Commitment for Change 変革と挑戦を加速するガバナンス

東北大学は、卓越性と成長とともに追求する新たな知識経営体へと進化する。東北大学は、グローバル社会の一員として行動するため、それにふさわしい組織体制を構築するとともに、ここに記載し約束したすべての事項を実現可能とする実効性の高い大学ガバナンスを確立する。

A Full-Scale Global Readiness 全方位の国際化

- 外国人研究者比率
- 国際対応力のあるスタッフ比率
- 留学生比率
- 博士課程学生の修了時までの国際経験割合
- 執行部の外国人比率

B Responsive & Responsible Governance 機動的で責任ある経営とガバナンス

- 自己収入比率
- 事業規模
- 独自基金造成状況
- 法人戦略財源の規模
- 執行部の外国人比率

- III-A-1 包括的国際化の推進
- III-A-2 頭脳循環のためのグローバルリンケージ
- III-A-3 世界と共創する国際拠点形成

- III-B-1 事業成長の新潮流に挑戦する経営
- III-B-2 知識経営体のためのガバナンス進化
- III-B-3 活力を高め成長を促す組織マネジメント
- III-B-4 多彩な才能の活躍を支える協働システム

I Commitment for Impact 未来を変革する社会価値の創造

A Research Excellence
国際的に卓越した研究エコシステム(学術的インパクト)

B Impactful Research & Innovation
世界に変化をもたらす研究展開(社会的インパクト)

材料科学



ものづくり・環境・エネルギー・食品・農業・医療等への横断的波及

スピントロニクス



半導体産業競争力の強化
グリーンな未来への貢献

災害科学



総合知に基づく地球規模課題の解決
レジリエントな社会の創造

ライフサイエンス



データ駆動による
未来型医療・ヘルスケアの開拓

人文社会科学



新しい日本学研究の展開
国際価値共創

科学技術イノベーション

持続可能社会

人類のウェルビーイング

卓越した基礎研究を起点として

世界に開かれた社会価値創造プラットフォームとしての大学へ

社会に開かれたキャンパスの創造

7



3GeV高輝度放射光施設
NanoTerasu

宇宙環境試験室
(クリーンルーム約 85 m²)

衛星開発室
(クリーンルーム約 70 m²)

アントレプレナーホール

ナノテラス
研究群

レンタル
ラボ

スタートアップ
企業

半導体

民間企業

グリーン/
宇宙

材料科学

国際放射光イノベーション・
スマート研究棟

青葉山ユニバース

本学独自のサイエンスパーク事業を展開

- ・ 多彩なアクターが参画し、社会価値を生み出すイノベーションエコシステムを創造
- ・ 国家的に重要な戦略技術領域の研究ハブを形成(半導体、AI、バイオ、量子、マテリアル等)

世界最先端フラグシップファシリティを戦略的に整備

- ・ DX連携を通して比類ないスーパーファシリティネットワークを構築(民間投資も活用)

企業のR&D拠点をキャンパスに設置

- ・ 共創研究所およびその発展型により、企業との大型産学連携を一気に拡大



スパコン「AOBA-1.5」
ベクトル型としては世界一の性能

ペタバイト級ス
トレージ

3GeV高輝度放射光施設 ナノテラス

- ・ ナノスケール現象を可視化する巨大な顕微鏡
- ・ 建設段階から民間投資を呼び込む世界でも類のない整備方式
- ・ 出資意向は企業・大学・研究機関等約150件

国際放射光イノベーシ
ョン・スマート研究棟

青葉山ユニバース

2027年竣工

サイエンスパーク4万m²

新たな整備手法・運営手法に挑戦

- ・ 大学債等によるサイエンスパーク整備
- ・ 国立大学初の民間金融機関との共同出資会社による事業展開 ※ 東北大学共創イニシアティブ(株)

II Commitment for Talent 多彩な才能を開花させ未来を拓く

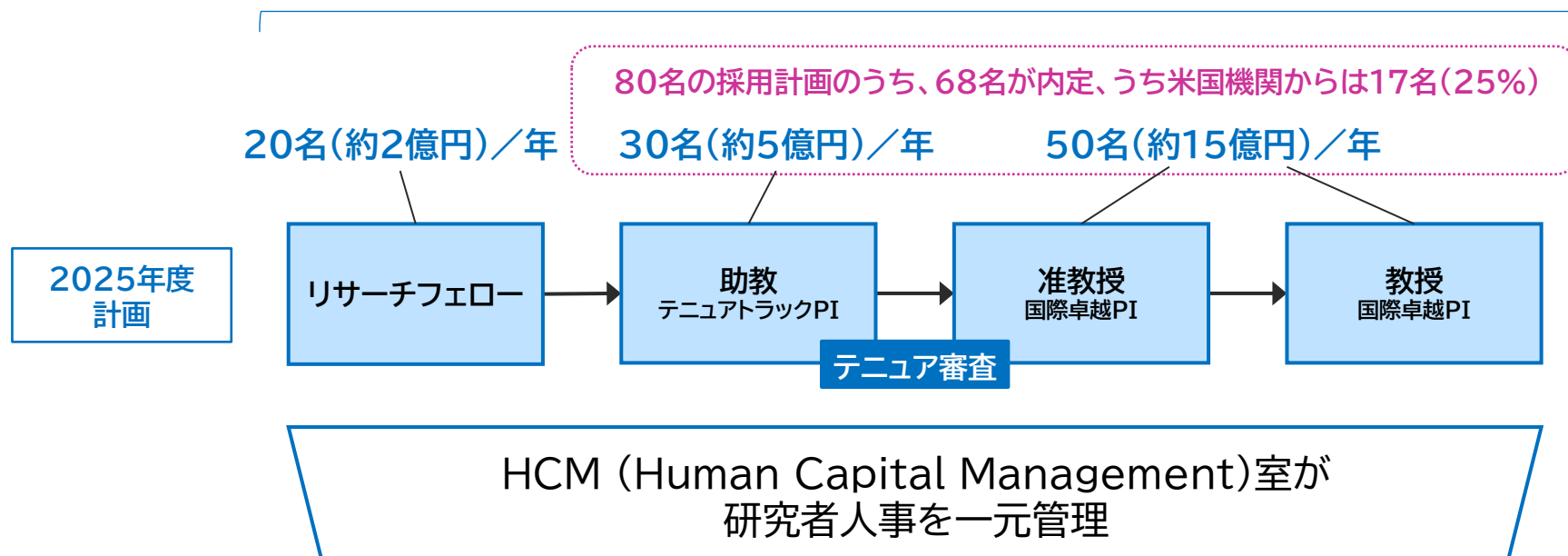
A Campus for Aspiring Minds
世界の研究者を惹きつける研究環境

B Gateway to New Venture
世界に挑戦する学びの創造

国際卓越人事トラックの全学展開(2025年6月6日記者会見) 今後5年間で約500名を採用予定【総額 約300億円】

- ✓ 卓越したPI(研究主宰者)に対して、国際競争力ある雇用条件や研究環境等を提供
- ✓ 米国など海外の研究者にとって魅力あるテニュアトラック制度を運用
- ✓ 若手研究者もPIとして早期に独立し研究ユニットを指揮

国際卓越人事トラック 総計100名(約22億円)/年







サンフランシスコ
UCSF Tidelands



サンフランシスコ
Stanford University

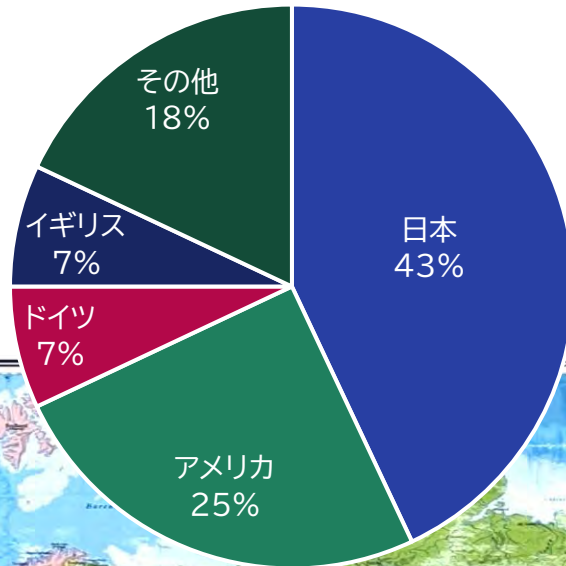


ボストン
CIC Cambridge

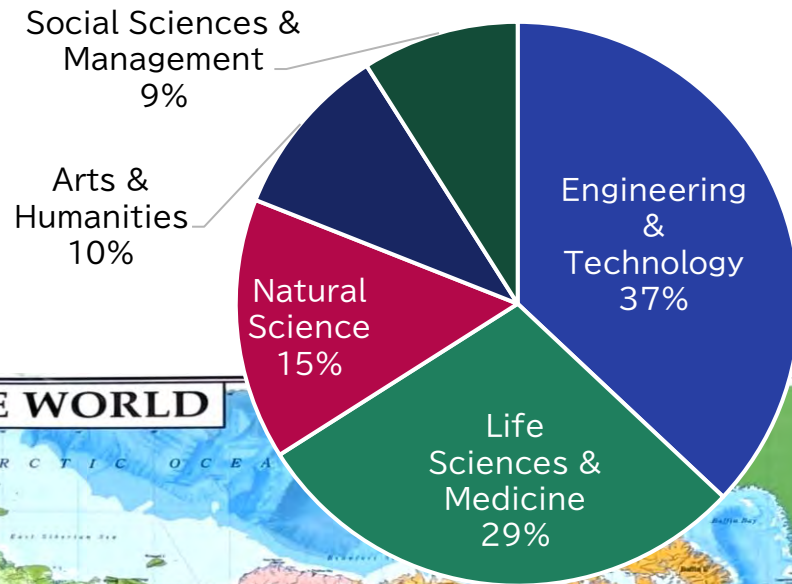


ボストン
Massachusetts General Hospital

採用前所属機関国籍



研究分野



若手研究者に独立研究環境を提供する 学際科学フロンティア研究所 (FRIS)

若手**50**名が
世界トップレベルの学際研究に挑戦

- 分野を限定しない国際公募
(競争率10倍以上)
- 独立した研究環境(若手PI)
- テニユアトラック制度
- 年間最大250万円の支援
- 国際頭脳循環、共用設備

FWCI
1.51

※2017~2022年

TOP10%
論文割合
13.8%

※2017~2022年



若手研究者の活躍が際立つ大学

文科大臣表彰
若手科学者賞

9名
(全国2位)

※2025年度受賞件数

大学フェロー
シップ創設事業

採択**120**件
(全国1位)

※博士後期課程学生
※2021年度実績

創発的
研究支援事業

採択**74**件
(全国3位)

※2020~2023年度
採択件数

日本学術
振興会賞

5名
(全国1位)

※2024年度受賞件数

日本学術
振興会育志賞

7名
(全国2位)

※2021~2024年度
受賞件数

トップクラスのフィジシャン・サイエンティストを育成



東北大学病院

- 許可病床数:1160床
- 臨床教員数:540名
- 80万人の臨床データ
- 各診療科を通して臨床現場へのアクセスを提供
- 実験装置・データ基盤などのコアファシリティ機能を提供
- 臨床研究・治験への切れ目のない開発支援を提供(CRIETO)

THE
日本大学ランキング

第1位
2025年

5年連続1位

朝日新聞
大学ランキング

学長からの評価/
総合的に注目
(教育+研究)

第1位
2026年

2年連続1位

朝日新聞
大学ランキング

高校からの評価
総合評価

第1位

2006~21年の調査期間中
総合1位を15回

朝日新聞
大学ランキング

入学後、生徒を
伸ばしてくれる大学

第1位

2026年
9年連続1位

多様な観点から注目される東北大学



国立大学

第1位

2026年

- ▶教育面で注目
- ▶研究面で注目
- ▶入学者選抜が工夫されている
- ▶改革力が高い
- ▶生徒に人気がある

出典:大学ランキング2026年版(朝日新聞出版)

ワールドクラスの高度人材へ

国際卓越研究大学にふさわしい包括的支援

高等大学院 ～ 大学院を統括

国際性・開放性を基軸とする大学院変革

- ・ 国際共同大学院(現在10プログラム)などの横断型学位プログラムを全面展開
- ・ 海外大学等での国際経験を必須化(8%→100%)

博士課程学生を拡大

- ・ 給与支給など経済支援を大幅に拡充(180→300万円)、研究者として処遇
- ・ 修士から国際的視野で将来を見通せる一貫プログラム(12,000人)

博士(留学生)

6,000人(40%) ↑ 25年後
2,700人(30%)

修士(留学生)

6,000人(40%) ↑ 25年後
4,000人(17%)

ゲートウェイカレッジ ～ 学部変革

世界へ、そして、未来へのゲートウェイ

留学生2,000名と国内学生6,000名の徹底した国際共修環境

- ・ Immersion ～ 世界の本物に触れ視野を広げる
- ・ Inquiry ～ 問いを持ち、探求を始める
- ・ Specialization ～ 知的探求を深め、大学院での研究につなげる

学部学生(留学生)

10,000人(20%) ↑ 25年後
(2%)

アドミッション 機構

入学者選抜を統括 優れた学生を獲得

- ・ 総合型選抜へ段階移行(現在AO入試30%超)
- ・ 海外を含め、戦略的な学生リクルートの展開

III Commitment for Change **変革と挑戦を加速するガバナンス**

A Full-Scale Global Readiness
全方位の国際化

B Responsive and Responsible Governance
機動的で責任ある経営とガバナンス



東 哲郎
Rapidus株式会社取締役会長
最先端半導体技術センター
理事長



David PRICE,
Former UCL Vice-Provost
(Research, Innovation, and Global
Engagement)



尾崎 久仁子
元国際刑事裁判所裁判官
中央大学法学部 特任教授



帯野 久美子
株式会社インターアクト・ジャパ
ン 代表取締役



境田 正樹
TMI総合法律事務所

学内メンバー

CGO 4月1日着任



Marie Pierre FAVRE,
Senior Advisor / Vice-President delegate for
International Development of INSA Group



富永 悌二
東北大学総長



青木 孝文
東北大学理事・副学長
プロボスト・CDO



宮田 康弘
東北大学理事
CFO・CIO





あべ文部科学大臣



柴山 元文部科学大臣



ファブル氏



甘利 自由民主党元幹事長



上山 CSTI議員



MOVER AND SHAKERによる発表





第46回鳥人間コンテストで学友会人力飛行部(Windnauts)優勝

MOVE AND SHAKE.

知の加速が、世を動かす。

目指すのは、

日本、そして世界を先導する研究大学の創造。

自ら動き、心を揺さぶる。

事を動かし、当たり前を塗り替える。

変革にコミットし、リーダーシップを発揮する。

国内外から集まる学生や教職員、

研究者や社会のパートナーが、

叡智を結集し、速やかに前進する。

一人ひとりの志、誇りと覚悟を礎に。

新しい時代を切りひらく、

世界最高水準の研究大学を目指して。

東北大学の挑戦に
ご支援お願い申し上げます



東北大学広報
活動キャラクター
研一